

令和4年度 第77回国体県予選会兼第49回東北総体山形県予選会

審判・監督会議資料

1. 遵守事項

(1) 共通事項

- ①競技規定については実施要項のとおりとする。
- ②本予選会は「山形県空手道連盟 感染拡大防止ガイドライン」に沿って運用し、実施要項別紙「新型コロナウイルス感染症対策について」を承諾したうえで参加することとする。
- ③新型コロナウイルス感染症拡大の防止対策として、本予選会は無観客とする。
- ④全参加者は別紙「新型コロナウイルス感染症対策について」に記載されている以下の書類を提出すること。
 - ・入場者連絡票（所属団体取りまとめ用）：各地区連盟・高体連加盟校の監督者（7/4までメールで競技事務局へ提出）
 - ・連絡先確認用紙兼健康管理チェックシート：全参加者（当日受付に提出）
- ⑤審判・監督会議は事前に本書面の配布のみにより実施する。当日は審判においては出欠確認のみ、監督は受付時に棄権する選手を報告すること。
- ⑥開会式、閉会式は密を避けるため実施せず、競技の開始は審判長の開始の発声のみにする。
- ⑦整列する際は1m以上離れて並ぶこと。
- ⑧ゴミは各自持ち帰ること。（会場内にゴミ箱はありません）

(2) 審判員

- ①不織布マスク、フェイスシールド、手袋を装着して審判を行うこと。不織布マスク、フェイスシールドは各自準備すること。（主催者では準備しない）
- ②笛は使用せず、電子ホイッスルを使用する。判定時の合図は監査が行う。
- ③形競技において、感染予防のため審判員席は所定の位置より1m離れた場所に設定する。
- ④競技中、指定された席を必要以上に離れないこと。
- ⑤審判シューズは土足厳禁とする。

(3) 選手

- ①コートの入退場時・整列時はマスクを着用し、隣の選手及び前の選手との距離は1m以上間隔を空けて整列すること。
- ②形名の呼称や気合い等を発声する際は、大声での過度な発声を禁止する。
- ③組手競技においてマウスシールドが外れた場合は、直ちに主審が「止め」をかけるので付け直すこと。
- ④選手同士及び監督との握手ハイタッチ・ハグ・出迎え・送り出しは行わないこと。
- ⑤更衣室は女子のみの利用とし、ロッカー・シャワーは利用不可とする。ヘアセットは入場前に行うこと（更衣室内は飲食禁止）。男子の更衣は練習会場にて行うこと。

(4) 監督

- ①監督はあらかじめ届出があった者とする。
- ②監督席では大きな声での過度な発声を禁止する。
- ③監督はトラックスーツ（半袖可）とする。但し大会役員を兼ねている場合はその限りではない。
- ④監督は予選会が円滑に進行するよう、該当地区・学校の選手に取り決め事項やマナー等を遵守するよう指導・管理すること。

2. 競技について（実施要項記載以外）

(1) 形競技

- ①演武は1名ずつ行う。
- ②連続して試合を行う場合のインターバルは1分間とし、赤と青が入れ替わる場合は帯を交換してから1分間とする。

(2) 組手競技

- ①本大会は競技会医務員（ドクター）が配置されているため、10秒ンドルールを採用する
- ②メンホーにマウスシールドを装着することを義務付ける。
- ③連続して試合を行う場合のインターバルは試合時間と同時間とし、赤と青が入れ替わる場合は防具等を交換してから計測する。

(3) 審判員実施事項

- ①2022年組手競技規定を採用する。
- ②組手競技において、マウスシールドが外れた場合は直ちに主審が「止め」をかけ、付け直させてから再開すること。
- ③審判員は同じ団体に所属する選手の審判はできない。但し、審判員に不足が生じ場合は、審判長又はコート長（TM）の判断により、審判団に編成することがある。

3. 質疑について

- (1) 予選会当日は従来の審判会議、監督会議は実施しないため、上記の内容について質疑が生じた場合は、別紙「質疑申込書」に質疑内容を記載し、担当者へ期日までメールで送付すること。後日、質疑内容とその回答を通達する（ホームページ掲載）。
- (2) 質疑申込書の提出について

【提出期限】 令和4年7月1日（金）

【提出先】 競技事務局長 山村伸行 宛 メールアドレス yamamu990@yahoo.co.jp